

〔ペンチオピラド・TPN水和剤（フロアブル）〕

ベジセイバー

有効成分：ペンチオピラド（化管法1種）…………… 6.4%
TPN（化管法1種）…………… 40.0%

性 状：類白色水和性粘稠懸濁液体
毒 性：－
危 険 物：－
有効年限：4年
包 装：500ml×20本

ベジセイバー：登録商標第 5589036 号

〔特長〕

- 灰色かび病、うどんこ病に優れた効果を示すペンチオピラドと、幅広い病害に安定した効果を示すTPN（ダコニール）を有効成分とする。
- SDHI 剤に対する感受性低下が懸念される地域の病害にも安定した効果が期待できる。
- 耐雨性、残効性に優れているため、安定した効果が期待できる。
- 汚れが少ない。

〔適用病害と使用方法〕

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ペンチオピラド を含む農薬の 総使用回数	TPN を含む農薬の 総使用回数
キャベツ	べと病 株腐病 菌核病	1000	100～300 ℓ /10a	収穫14日 前まで	2回以内	散布	3回以内 (は種又は定植前の 土壌混和:1回以内、 散布、無人航空機散布 及びエアゾル剤の 噴射:合計2回以内)	3回以内 (は種又は定植前の 土壌混和:1回以内、 散布、無人航空機散布 及びエアゾル剤の 噴射:合計2回以内)
		16	1.6ℓ /10a			無人 航空機 による 散布		
メロン	べと病 うどんこ病 つる枯病	1000	100～300 ℓ /10a	収穫3日 前まで	3回以内	散布	3回以内	5回以内
きゅうり	べと病 うどんこ病 灰色かび病 褐斑病 炭疽病 黒星病			14回以内 (土壌灌注:2回以内、 散布、常温煙霧、 くん煙及び エアゾル剤の噴射: 合計12回以内)				
トマト	疫病 うどんこ病 灰色かび病 葉かび病 すすかび病			6回以内 (土壌灌注:2回以内、 散布、常温煙霧、 くん煙及び エアゾル剤の噴射: 合計4回以内)				
ミニトマト	斑点病			2回以内				
なす	うどんこ病 灰色かび病 すすかび病 菌核病 黒枯病 褐色斑点病 褐色円星病	3回以内	4回以内					
にがうり	うどんこ病							

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ベンチオピラド を含む農薬の 総使用回数	TPN を含む農薬の 総使用回数
ピーマン	うどんこ病 灰色かび病 炭疽病 黒枯病 斑点病	1000	100～300 ℓ /10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内
かぼちゃ	うどんこ病 つる枯病 べと病 白斑病	16	1.6ℓ /10a	収穫7日 前まで		無人 航空機 による 散布		
にんにく	さび病	1000	100～300 ℓ /10a		4回以内	散布	4回以内 (種球塗沫：1回以内、 散布：3回以内)	6回以内
たまねぎ	べと病 灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病	16	1.6ℓ /10a	無人 航空機 による 散布		4回以内		
ねぎ	べと病 さび病 白絹病 葉枯病 黒斑病 小菌核腐敗病	1000	100～300 ℓ /10a	収穫14日 前まで	2回以内	散布	4回以内 (株元灌注：2回以内、 散布及び無人航空機 散布：合計2回以内)	4回以内 (土壌灌注：1回以内、 散布及び無人航空機 散布：合計3回以内)
	16	1.6ℓ /10a	無人 航空機 による 散布					
レタス	べと病 菌核病 すそ枯病 灰色かび病	1000	100～300 ℓ /10a	収穫21日 前まで	3回以内	散布	3回以内	5回以内 (土壌灌注：2回以内、 散布及び無人航空機 散布：合計3回以内)
		16	1.6ℓ /10a			無人 航空機 による 散布		
非結球 レタス	べと病 菌核病 すそ枯病 灰色かび病	1000	100～300 ℓ /10a	収穫21日 前まで	2回以内	散布	3回以内	2回以内
		16	1.6ℓ /10a			無人 航空機 による 散布		
すいか	うどんこ病 つる枯病 炭疽病 菌核病	1000	100～300 ℓ /10a	収穫3日 前まで	3回以内	散布	5回以内	
はくさい	黒斑病 白斑病 白さび病 べと病 菌核病	16	1.6ℓ /10a	収穫7日 前まで	2回以内	無人 航空機 による 散布	3回以内 (は種又は定植前の 土壌混和：1回以内、 散布及び無人航空機 散布：合計2回以内)	
						散布		
アスパラ ガス	茎枯病 斑点病 褐斑病	1000	100～300 ℓ /10a	収穫前日 まで	4回以内	散布	4回以内	4回以内
		16	1.6ℓ /10a			無人 航空機 による 散布		

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ベンチオビラド を含む農薬の 総使用回数	TPN を含む農薬の 総使用回数
ブロッコリー	菌核病 べと病 黒すす病	1000	100～300 ℓ /10a	出蕾前 但し、 収穫21日 前まで	2回以内	散布	3回以内	3回以内 (土壌灌注：1回以内、 散布及び無人航空機 散布：合計2回以内)
		16	1.6ℓ /10a			無人 航空機 による 散布		
きく	白さび病	1000	100～300 ℓ /10a	発病前～ 発病初期	3回以内	散布		6回以内

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用する。
- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきる。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守る。
 - 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施する。
 - 散布機種種に適合した散布装置を使用する。
 - 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行う。
 - 散布薬液の飛散によって動植物及び自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- ストレプトマイシン剤およびホセチル剤と混用する場合、必ず本剤を先に所定の濃度に希釈してからそれぞれの剤を加える。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさげ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用する。
- 空容器はほ場などに放置せず、適切に処理する。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲などに注意する。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
 - 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさける。
- 夏期高温時の使用をさける。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 魚毒性…水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。
- 使用残りの薬液が生じないよう調製し使い切る。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

